

## 平成 26 年度 第 1 回 成田市精神保健福祉推進協議会 会議録

1 開催日時 平成 26 年 7 月 2 日（水）

2 開催場所 成田市赤坂 1 丁目 3-1 成田市保健福祉館 会議室 1.2

3 出席者

（委員）佐藤会長、佐久間委員、太田委員、山崎委員、嶋崎委員、青木委員、宇野委員、笠松委員、石田委員、小柳委員

（委任状）大根田委員、橋本委員

（幹事）星野幹事、潁川幹事、徐幹事、山田幹事、宮野幹事、石井幹事、佐久間幹事、下村幹事

（事務局）金崎部長、神山課長、谷下田主査、楠野主任主事

4 議事（要旨）

議案第一号 成田市の精神保健福祉の現状について

委員：自立支援医療受給者証について制度を知らされなかったということで、訴えられた市があったと聞いたが、市や他機関で周知はどのようにしているか？

複数委員より：病院内にポスター掲示、個別には医療費について相談という話を聞いた場合 自立支援医療を使っていない人がいたら声をかけるなどの対応を実施している。

事務局：自立支援を含めた手帳などの支援制度については、窓口で診断書の用紙を渡すなどの際に確認、紹介を実施している。

委員：成田市は手当などの制度が充実しているが、本人のために使われているのか。

事務局：成人の受け取り口座は本人だが管理者は不明。

委員：精神障がい者の外出への交通費助成はどのようなものがあるか。

手帳の等級でタクシー券による半額助成（成田周辺のタクシーと契約）バスについてはコミュニティバスのみ。

委員：精神の医療費助成とはどういう制度であるか。

事務局：手帳及び自立支援医療を利用されている方に対して、通院医療費を償還払いしている制度。

委員：進達とはどういう意味か？

事務局：手帳や自立支援医療の新規・更新・変更申請を受付して千葉県へ報告した件数。

委員：手帳の取得に診断書と年金証書での2種類があるが、比率はどのようになっているか

事務局：正確な統計は取っていないが、約1割程度が障害年金証書で作成している。

委員：こころの健康相談とはどういうものか。保健所の相談との差はあるか。

幹事：健康増進課事業 成田市にお住まいの方を対象に医師、カウンセラーによる相談を予約制で実施している。比較的受診を迷うケースなどが多いが、相談内容での振り分けなどは実施していない。また、健康ほっとラインによる24時間電話健康相談も実施している。

委員：社会福祉検討部会とはどんなことをおこなっているのか。

事務局：以前は成田市あじさい工房立ち上げに関する検討部会として開催。昨年から再開。現在は成田市の精神障がい者に対する支援を考える場としていきたいが、どのようなことを行うかも検討中。ぴあスタッフも参加している部会である。社会福祉検討部会の資料を補足として渡す。

委員：協議会の場で報告をしてほしい。（次回推進協議会で報告）

○議案2号 平成25年度事業報告について：承認

○報告第1号 平成26年度事業計画について

成田精神保健福祉フォーラムは、8月22日（金）予定。成田市中心公民館で開催 NPO 法人じりつ 岩上洋一氏を講師予定

5 傍聴者 なし